

第六回

## 継ぐことで創る日本芸能

語り手 細田明宏先生

帝京大学文学部日本文化学科 准教授  
近代・現代の人形浄瑠璃専攻

宮川直也さん

明星大学人文学部心理学科4年生 津軽三味線奏者

種書

浄瑠璃素人講釈

杉山其日庵 著

(岩波書店 2004)

三味線は、日本各地の民謡や舞台芸能と結びつくことで、棹や撥のフォーム、芸能のスタイルを多様なまでに創り変えていった楽器です。琉球の蛇皮線(じゃびせん)が三味線に生まれ変わり、その三味線が上方の浄瑠璃と結びつきました。さらに浄瑠璃は傀儡子の伴奏として取り入れられ「人形浄瑠璃」という新種の芸を生みしました。

また弘前藩や黒石藩といった津軽地方において三味線は独自の発展を遂げました。北国の地吹雪の中で生まれた津軽三味線は、三本弦スタイルを受け継ぎながらも、太い棹、小ぶりの撥へと道具を進化させました。叩き奏法による冷たく荒々しい北風のような音色を奏でる津軽三味線は、いまやジャズやロックといった欧米音楽も取り入れています。

時代に応じて、地域に応じて絶えず変化を繰り返す日本の芸能からは、柔軟な文化を創る方法を学ぶことができます。

# ブックカフェ じふち テラチ

2016年3月10日(木) 14:45 - 16:15

▼定員

15名

どなたでもご参加いただけます

▼場所

帝京大学八王子キャンパス  
ソラティオスクエアB1F 博物館  
東京都八王子市大塚359

▼アクセス

京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」からバス(桜87)で13分  
京王線「高幡不動駅」からバス(高23)で10分  
京王相模原線「京王多摩センター駅」からバス(多4)で14分  
小田急多摩線「小田急多摩センター駅」からバス(多4)で14分  
京王バス「帝京大学構内」停留所すぐ

▼お申し込み方法

bookcafe.terachi@gmail.com まで

お名前/ご連絡先/ご所属をお送りください  
(当日参加もできます)

主催: 山田淳史 (帝京大学文学部日本文化学科4年生)

本ワークショップは、JST-RISTEX「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域平成27年度採択プロジェクト企画調査「多世代で共に創る学習プログラム開発の検討」(研究代表者: 森 玲奈 帝京大学高等教育開発センター講師)の一環として開催します。RISTEX

ブックカフェ

# テラチ



「ブックカフェテラチ」は、毎月一回九十分だけ開店する見世(みせ)でありながら、そのときの時候や時事に合わせてお選びした本と、そこから生まれる会話を楽しむ催しでございます。一冊の本を存分に味わって頂くために、当店では「講義」と「談義」の二種のプログラムをご用意致しました。

前半の「講義」では、大学教員をゲストに招いた三十分のトークライブを行い、一冊の本を読み解きます。

後半の「談義」では、トークの内容を深め、新しい理解を進めるために、参加者の皆様と言葉を交えます。

聴くもよし、話すもよし、「テラチ」では会話が向かうとする『その道中』をお楽しみください。

実をいいますと、てらちの『ち』は道の意味する言葉です。古代日本語において『ち(路)』という言葉は、みち(道)を意味しておりました。てらちには『照らす道』という意味を込め、この店名を名づけました。道草が太陽に照らされ萌え出するように、一冊の本から芽吹く会話をお楽しみ頂ければ幸いです。